

**細川 周平****◆著述活動**

- \*2024.5 「中村善郎ソロ評」『Jazz Tokyo』N.313、5月号
- \*2024.5 「祝賀能翁付高砂プログラムの言葉」京都立芸術大学堀場信吉記念ホール5月3日、『堀場信吉記念ホールプログラム』3頁
- \*2024.5 「日本の円筒録音時代—声の再生、模倣、保存」『音盤を通してみる声の近代—日本、上海、朝鮮、台湾』劉麟玉・福岡正太編著、スタイルノート、28-47頁
- \*2024.7 「ナベサダとジャズ」とボクとラジオ』『Jazz Tokyo』N315、7月号（私のジャズ事始め特集）
- \*2024.8 「学校祝歌が歌われる現場、歌う人の思いを解き明かす」『波』(656号)新潮社、8月号、92-93頁
- \*2024.9 「小沼純一『リフレクションズ』書評」『Jazz Tokyo』N.317、9月号、2-4頁
- \*2024.10. 「第14回日中音楽比較研究音楽シンポジウムあいさつ」『第14回日中音楽比較国際会議 シンポジウム要旨集』10月26-27日開催、1頁
- \*2024 "Technological Innovations and Corporate Power in the Japanese Recording Industry, 1877-1945", in *Phonographic Modernity. The Gramophone Industry and Music Genres in East and Southeast Asia*, Ed. by Fumitaka Yamauchi and Ying-fen Wang, University of Illinois Press, Urbana, Chicago and Springfield, pp.47-75
- \*2025.1 「清水靖晃+国本怜 Live at Kiwa」『Jazz Tokyo』N.321、1月号 (2024ベストライブ)
- \*2025.1 「マイク・モラスキ著『ピアノトリオ モダンジャズへの入り口』」『Jazz Tokyo』N.321、

1月号 (2024 ベストブック)

- \*2025.1 「日本女性ジャズ・ピアニスト秋吉敏子—ファンとして平岡正明を読み直す」『秋吉敏子論 国際／グローバル文化交流研究の視点から』芝崎厚士編、明治大学グローバル・スタディーズ、K-4031 (1.17 世界政治研究会、尊厳学の確立)
- \*2025.2 「読書アンケート2024」『みすず』みすず書房、2025年2月、6-7頁

**◆学内活動**

- \*教育研究審議会
- \*全学人事組織委員会
- \*全学 FD 委員会
- \*芸術資源研究センター運営委員会
- \*第三期中期計画検討委員会
- \*自己点検・評価委員会

**◆所属学会**

- \*日本ポピュラー音楽学会

**藤田 隆則****◆著作活動**

- \*2024.07 単著エッセイ「伝承を科学する—名所の名所たるゆえん」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年夏季号（2024年7月1日）、p.4
- \*2024.09 単著エッセイ「伝承を科学する—夢まぼろしの現実感」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年秋季号（2024年9月1日）、p.4
- \*2024.12 単著エッセイ「伝承を科学する—能楽の謡は「息で謡う」」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年冬季号（2024年12月1日）、p.4
- \*2025.03 単著エッセイ「伝承を科学する—能の笛（能管）の喉の音と響き」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2025年春季号（2025年3月1日）、p.4
- \*2024.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（36）—「松竹梅」をさかのぼる」』『楽報（都

山流楽報)』1167号 (2024年5月号) pp.2-3

\*2025.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(37) — 「頑張り」が生み出す伝統文化」『楽報(都山流楽報)』1171号 (2025年1月号) pp.2-3

\*2024.05 単著エッセイ「日本音楽の音階をどのように教えているか?」『東洋音楽学会西日本支部だより』101/102合併号 (2024年5月25日) pp.1-4

\*2025.02 上野正章・惠阪悟・田草川みづき・長田あかね・高橋葉子・藤田隆則(共編)『うたひ鏡』—翻刻・現代語訳・解説』日本伝統音楽研究センター研究報告15 (2025年2月28日)

#### ◆口述活動

\*2024.06.20 「能楽の「呂中干」形式をさかのぼる」伝音セミナー、京都市立芸術大学

\*2024.07.13 学会発表「能楽の謡における裏当たり(アウフトクト)の起源」(東洋音楽学会西日本支部例会、2024年7月13日(土)、京都市立芸術大学

\*2024.09.04 "The Origin of Ma in Noh songs." Ma: Explained, Experienced, Expressed. Symposium held at Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore.

\*2025.02.25 "Sound Patterns for Invocation to the Supernatural in Kagura, the Shinto Ritual and Noh Drama of Japan." Between Praying and Playing: Exploring the Potentials of Musical Performance in Religious Traditions. Workshop in Kyoto held at the Meeting Room (AA447), 4<sup>th</sup> Floor, Research Building No. 2, Kyoto University.

\*2025.02.26 ワークショップ「能楽の声とリズムをまねできるようになろう」シンガポール国立大学の学生に向けての実践体験ワークショップ)」河村能舞台

\*2025.03.17 「能楽の囃し手と謡い手との相互行為—「合わせる」から「乗る」へ」コミュニケーションの自然誌研究会、京都大学

#### ◆プロデュース活動

\*2024.04.03-05.01 でんおん連続講座特別編 後期「翁付高砂」の舞台・演技・演出」全5回 4月3日-5月1日

\*2024.05.03 能楽公演「翁付高砂 風流開口」京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール

\*2024.10.09 伝音ライブ! 第4回「源平合戦図屏風を謡い舞う -謡曲〈敦盛〉〈忠度〉」アートスペース K.Kaneshiro

\*2024.11.29 講演「ヤロスラウ・カプシチンスキ (Jarosław Kapuściński) 氏—ワークショップ・作品鑑賞・対話」伝音セミナールーム

#### ◆調査・取材活動

\*謡曲・能の囃子の伝承にかかる調査

#### ◆学内活動

\*国際交流委員会委員

\*附属図書館・芸術資料館運営委員

\*全学人事組織委員会委員

\*大学院音楽研究科兼担(日本音楽研究専攻の授業担当)

#### ◆対外活動

\*神戸女学院大学音楽学部非常勤講師(2024.09-2025.03)

\*文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員

\*所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

## 竹内 有一

#### ◆共同研究・競争的資金等の研究課題

\*2024.04-2026.03 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査」研究代表者

\*2022.04-2025.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「日本音楽研究における基礎的資料の再検討と新たな活用に向けて」研究代表者

#### ◆著作

\*2025.03.31 編著『常磐種 三 地之巻(影印)』

(常磐津節の伝承資料に関する調査報告書 2024 年度、文化庁補助事業)、常磐津節保存会、167pp

\*2025.03.31 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査」(公募研究成果報告)『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 NewsLetter』15、pp.9、23

\*2024.05.11 演目解説「舞踊・地歌：鉄輪」「舞踊・長唄：新曲浦島」「舞踊・長唄：晒三番叟」、「出演者紹介」(7名)、国立文楽劇場第40回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8

#### ◆講演・口頭発表等

\*2024.07.25 講演・演奏「江戸期の流行歌を歌つてみよう—常磐津への摂取例からー」(令和6年度前期第2回伝音セミナー)、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム

\*2024.10.09 対談「海外での歌舞伎公演2」(常磐津文字太夫師)、常磐津節保存会第9回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠久」

\*2024.11.13 企画構成・司会「伝音ライブ！#05 新内志賀桜」、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム

\*2025.03.05 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査(2024年度)」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点成果発表会(オンライン開催)

\*2024.04～2025.03 演目解説、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024年度公演にて随時、会場：(京都)天性寺、誓願寺、(大阪)島之内天野ビル、ほか

#### ◆調査・取材

\*文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)

\*常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査

\*常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査

\*詞章本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

\*柳原六斎念仏の調査

#### ◆社会貢献活動

\*京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導

\*崇仁の祭り囃子(柳原六斎念仏)伝承支援(崇仁お囃子会月例稽古ほか)

\*2024.09.07 崇仁お囃子会出演サポート、下京区サマーフェスタ(京都駅)

\*2025.01.11 常磐津節「年増」「将門」「乗合船」「うつぼ猿」、常磐津部ミニコンサート(常磐津部展2025)、伝音セミナールーム

#### ◆演奏(常磐津節淨瑠璃方、芸名：常磐津若音太夫)

\*2024.04～09 常磐津節「子宝三番叟」「勢獅子」「小曲万才」「水壳」「奴廐」「油屋酒宴」「油屋十人斬」「乗合船」「三社祭」「大阪めぐり」、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024年度前期9公演、(京都)天性寺・(大阪)島之内天野ビルほか

\*2024.06 常磐津節「山姥」(歌舞伎)、六月大歌舞伎、歌舞伎座

\*2024.06.29 常磐津節「関の扉」、第7回奏会、大阪高津宮

\*2024.07.01 常磐津節「竹生島」、NHK-FM「邦楽のひととき」

\*2024.07.27～28 常磐津節「竹生島」(舞踊)、長栄座、滋賀県立文化産業交流会館

\*2024.09.16～18 常磐津節「乗合船」、観月会、高松市栗林公園

\*2024.10.09 常磐津節「蜘蛛の糸」、常磐津節保存会第9回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠久」

\*2024.10～2025.03 常磐津節「節句遊び」「角田川」「瓢箪鯰」「吉田屋」「三保の松」「雷」「どんづく」「土手場」「雷船頭」、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024年度後期9公演、(京都)天性寺・誓願寺ほか

\*2024.11 常磐津節「身替座禅」(歌舞伎)、公文協主催松竹大歌舞伎

\*2024.11.03 常磐津節「小夜衣」「助六廓花道」、関西常磐津協会第83回公演会、国立文楽劇場小ホール

\*2025.01.15 常磐津節「宗清」「隅田川雪の八景」、NHK-FM「邦楽百番」

#### ◆教育・講義

\*前期／後期 日本伝統音楽基礎演習 a1～4、京都  
市立芸術大学大学院音楽研究科

\*前期／後期 日本伝統音楽研究 a1～4、京都市立  
芸術大学大学院音楽研究科

\*前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院  
音楽研究科

\*前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部

#### ◆所属学協会

\*（一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、  
歌舞伎学会

\*常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

#### ◆学外委員

\*文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委  
員

\*文化庁 邦楽普及拡大推進委員会委員

\*京都市 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム審  
査会委員

\*京都市 伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委  
員

\*第48回全国高等学校総合文化祭 郷土芸能部門 審  
査員

\*（公財）文楽協会評議員

\*（一社）東洋音楽学会 理事（2024年8月まで）

\*その他、氏名非公開の委員あり

#### ◆学内委員・役職

\*京都市立芸術大学：教育研究審議会委員、ギャラ  
リーアクア運営委員会

\*日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、將  
來構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、人  
事組織委員会 副委員長

## 武内 恵美子

#### ◆プロジェクト研究・研究助成

\*プロジェクト研究「音・音楽と心身の連環」研究

\*特別研究助成「日中音楽比較国際会議」開催に関す  
る助成

#### ◆著述

\*Emiko Takenouchi 'Gagaku Practice at  
Hirosaki Domain' Edited by Fabio  
Rambelli" GAGAKU THE CULTURAL IMPACT  
OF JAPANESE CEREMONIAL MUSIC"  
RELIGION AND SOCIETY, Berlin/Boston,  
2025, 95-122

\*「三味線・箏・尺八～中国発祥の楽器・日本での発  
展～」プログラム（2024年10月、京都市立芸術  
大学日本伝統音楽研究センター）

#### ◆講演

\*第65回公開講座「三味線・箏・尺八～中国発祥の  
楽器・日本での発展～」2024年10月27日（日）  
19:00～20:30、京都市立芸術大学D棟6階  
ギャラリー（監修・司会進行・演奏）

\*「平安時代の古琴の歴史と物語の文化」2024年  
11月14日、春秋会創立75周年記念事業 秋の  
部特別講演

\*「尺八の歴史と楽譜」11月28日 上海音楽学院  
特別講演会1日目 於上海音楽学院

\*「錦風流尺八と古琴—明治期の文人世界」講演と演  
奏 11月29日 上海音楽学院特別講演会2日目  
於上海音楽学院

#### ◆管理運営

\*日中音楽比較国際会議・シンポジウム開催実行委員  
長

#### ◆学内活動

\*担当科目：原典研究I・III、日本伝統音楽演習BI・  
III、日本伝統音楽演習BII・IV、日本音楽史

\*理事、リポジトリ運営委員会、全学FD委員会委員  
長、自己点検・評価委員会委員長、学術委員会委員  
長、国際交流委員会、情報管理委員会

#### ◆学外活動

\*文化庁令和6年度芸術選奨推薦委員

\*文化庁令和6年度芸術祭審査委員

\*堀川音楽高校 非常勤（日本音楽史）

## 田鍬 智志

#### ◆講演（演奏）

\*2024.08.24 伝音セミナー「地方に根付い

た雅楽のありよう－伝承の分化と音楽スタイルの進化－」、伝音セミナールーム。講演：上野正章・前島美保・出口実紀・松尾象空・田鍬。

- \*2024・11・01 アスニー特別講演会（古典の日関連講演・京芸移転記念講演2）「平安時代・鎌倉時代の雅楽をきく—古楽譜の解読ー」、京都アスニー4階ホール。実演：仁智要録より《新鳥蘇》。
- \*2024・11・05 第67回公開講座「古代出土コトから和琴へ～トークセッションとライヴ～」、伝音セミナールーム。講演：松井一晃・浅村朋伸。出演：中川佳代子・藤家溪子。司会：田鍬。楽曲提供：田鍬ほか《御遊風講式声歌聚～鎌倉時代の推定和琴奏法と声歌譜解読による再現～》、藤家溪子《熊野ポータラカ～和琴と声のための～》委嘱初演。

#### ◆音声（映像）展示

- \*2024・09・27～12・01 映像付きサウンド展示「源氏物語のなかで鳴り響く雅楽曲—平安末期のスタイルで再現するー」、秋の特別展『源氏物語の世界展』、ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）。使用音源：青海波・胡蝶樂・壹越性調搔合・想夫恋・陵王・酣醉樂（2021『雅楽のイロイロを科学する本』付属CD、2018～22年度科研費による制作音源）。

#### ◆公演マネジメント

- \*2024・06・28 伝音ライブ！第3回×音楽学部・音楽研究科の創造のためのリサーチプレゼンテーション共創企画「ルイジ・アントニオ・イルランディーニの尺八音楽」。演奏：ルイジ・アントニオ・イルランディーニ（尺八）、瀬戸田悠貴（Cb）・池上真宝（Cb）。

#### ◆調査

- 科研（因幡の麒麟獅子・中世日吉小五月会関連）調査
- \*2024・04・14 日野神社例祭（岩美町）・美取神社例祭（岩美町）・浜坂神社例祭（鳥取市）・倉田八幡宮例祭（鳥取市）。
- \*2024・04・21 伏野神社大祭（鳥取市）・菖蒲神社例祭（鳥取市）。
- \*2024・04・29 上小路神社大祭（鳥取市）。
- \*2024・05・03 若桜神社大祭（若桜町）・下船岡神社大祭（八頭町）。

\*2024・05・05 上賀茂神社賀茂競馬（京都市）。

\*2024・05・15 上賀茂・下加茂神社葵祭走馬の儀（京都市）。

\*2024・07・14 六所神社垂木祇園祭大祭（掛川市）。

共同研究（民間雅楽団体）調査

\*2024・04・08 宇根雅楽会（長浜市 春日神社例祭）・丸三ハシモト株式会社（長浜市）。

\*2024・05・12 楽講（有田市 得生寺中将姫会式）。

\*2024・07・15 下戸山永楽社（栗東市 五百井神社涼みの湯神事）。

\*2024・09・22 下戸山永楽社（栗東市 五百井神社新穀の湯神事）。

\*2024・11・17 花園郷土古典芸能保存会（かつらぎ町 遍照寺 花園の仏の舞）。

\*2024・11・23 東円堂雅楽会（愛荘町 豊満神社新嘗祭）。

\*2024・03・08 尾花沢雅楽保存会（尾花沢市芭蕉・清風歴史資料館企画展「尾花沢のおひなさま」関連「尾花沢の雅楽演奏会」、鈴木徹氏宅）。

#### ◆伝承活動

- \*2024・08・20 弥勒寺千本燈明会（六斎念佛奉仕、御所市東佐味）

#### ◆学内活動

\*担当科目：日本音楽史I（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）

\*自己点検評価委員会、学生委員会

\*大学院修士入試委員会、教務委員会

## 齋藤 桂

#### ◆著述活動

\*「録音と鑑賞の間：戦前新民謡のレコードに対する態度」ボン大学日本・韓国研究専攻『日本研究の補助学としてのレコード学の確立に向けて』（予稿集）、pp.41-44。

\*その他、時事通信に新譜紹介記事12件。

#### ◆講演

\*伝音セミナー「フリー・リード楽器を知る：笙から

生まれた楽器たち」2024年9月26日、於：京都  
都市立芸術大学。

\*京都アカデミアウィーク 2024「京都でめぐるアメ  
リカ文学」2024年10月24日、於：京都アカデ  
ミアフォーラム in 丸の内。

\*国際ワークショップ「日本研究の補助学としてのレ  
コード学の確立に向けて」（担当：）2024年11  
月29日～12月1日、於：ボン大学。

\*日本伝統音楽研究センター第66回公開講座「日本  
と欧州のハイカルチャーと大衆音楽」2025年3  
月3日。

#### ◆対外活動

\*日本音楽学会西日本支部委員

\*所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、European  
Association for Japanese Studies

#### ◆科研費

\*研究代表者：基盤研究（C）「近現代日本における  
「股旅もの」芸能の研究」2019-2024年度（延  
長）。

\*研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文  
化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」（研究代  
表者：伊東信宏）2019-2024年度。

\*研究分担者：基盤研究（B）「新出コレクション『西  
村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽  
の資料学的研究」（研究代表者：竹内有一）2020-  
2024年度。